



平成27年6月30日

各 位

会社名株式会社 アダストリア  
代表者 代表取締役 福田 三千男  
会長兼最高経営責任者(CEO)  
(コード番号 2685 東証第一部)  
問合せ先 上席執行役員 管理本部長 林 正武  
(TEL: 03-6895-6000)

## 平成28年2月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、第1四半期業績の進捗を受けて、平成27年4月6日に公表いたしました平成28年2月期第2四半期(累計)連結・個別業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成28年2月期第2四半期(累計)業績予想の修正について

##### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 90,700	百万円 2,500	百万円 2,500	百万円 600	円銭 24.71
今回修正予想(B)	92,400	4,000	4,300	1,200	49.42
増減額(B-A)	1,700	1,500	1,800	600	
増減率(%)	1.9	60.0	72.0	100.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	88,051	2,038	2,174	109	4.51

## (2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 85,300	百万円 2,900	百万円 3,000	百万円 3,800	円銭 156.49
今回修正予想 (B)	86,300	4,200	4,500	4,000	164.73
増減額 (B - A)	1,000	1,300	1,500	200	
増減率 (%)	1.2	44.8	50.0	5.3	

\*前期の個別業績は持株会社アダストリアホールディングスの業績であり、連続性に欠けるため、記載を省略させていただきます。

### 2. 修正の理由

第1四半期は、好天に恵まれたことに加え、主力ブランドでのベーシックアイテムの品質改善・販売力の向上、WEB事業の大幅伸長、ヒットアイテムの貢献等の要因により、既存店売上高前年比が103.3%と好調に推移しました。販管費もコントロールした結果、連結・個別業績ともに営業利益・経常利益・当期純利益がそれぞれ第2四半期（累計）の期初予想を上回って着地しました。

第2四半期につきましては、夏物需要が第1四半期に前倒しとなった可能性に加え、お客様の購買行動の変化から年々セール期間の売上が弱含んでいることもあり、やや慎重な見方をしておりますが、第2四半期（累計）個別業績で前回予想に比べて売上高が10億円上回ると予想しております。また、売上総利益率、営業外収益も想定を上回って推移していることから営業利益で13億円、経常利益で15億円、当期純利益で2億円上振れる見込みです。

連結業績につきましては、上述の個別業績の修正に加え、コストコントロールによって株式会社N9&PGの業績も上振れて推移していることが修正要因となっております。

なお、第2四半期の見通しの背景と同様の要因により下期の売上動向についても合理的な予測をたてにくいため、通期業績予想は平成27年4月6日に公表しました期初予想を現段階では修正いたしません。修正の必要が生じた際には速やかに公表いたします。

(注) 上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上